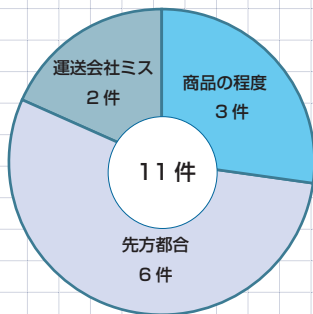


リノベートニュース

令和4年9月号 NO.244

ISO9001の取得に合わせ2002年4月にスタートしたリノベートニュースは、現在NO245号を迎えています。またHPに掲載されているブログは、2006年11月2日に始まり16年を経過しました。いずれの情報配信の思いには再生部品の社会的認知度の向上に向けて日々品質改善に取り組んでいる姿を伝えることにありました。「お宅の会社は、来るたび、様子が変わる」と言われるほどのスピードで設備の充実も図ってきました。今ではこの二つの情報配信ツールは、当社の成長の歴史を物語る証しにもなっています。リノベートパーツの進化の様子を伝え続けることは、お客様への感謝の気持ちと捉え今後も情報配信を続けてゆきます。

8月のクレーム 集計報告



自社主力商品別クレーム (輸出版売はノークレームのため対象外です。)

商品別クレーム	件数	クレーム率	内 訳
バンパー	1 件	1／900 0.11%	先端が折れてボンドの跡あり 1 件
フード	0 件	0／254 0.0%	
フェンダー	0 件	0／582 0.0%	
ドア・R ゲート	0 件	0／183 0.0%	
ライト類	2 件	2／771 0.26%	光軸部分 外れている レンズ内 木片の様な異物混入 各 1 件
計	3 件	3／2,690 0.11%	

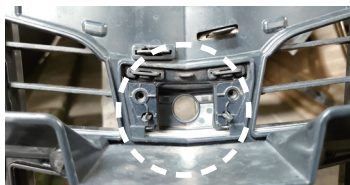
豆知識 トヨタ アルファード GGH30、35、AGH30、35のグリル、年式によるカメラ取付穴の見分け方

後期 (初期)	H30.1 ~ R2.1	凸型
後期 (途中から現行)	R2.1 ~	○型

カメラの純正品番も違うので取付け形状も異なったものと思われます。



H30.1~R2.1



R2.1~

豆知識 トヨタ ヤリス MXPA10、KSP210等210系R2.2~5D と GRヤリス MXPA12.16 R2.9~3D ドアミラーの相違点

ドアの形状が異なるので取付部のパネル形状が違います。



ヤリスドアミラー

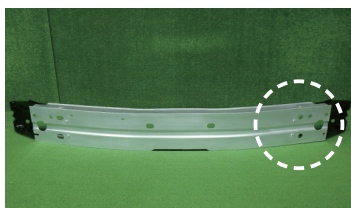


GRヤリスドアミラー

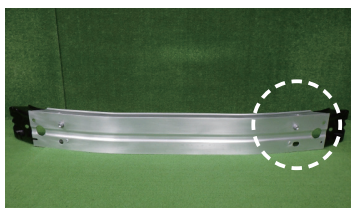
豆知識 レクサスES AXZH10とRAV4 MXAA52、54 50系のフロントホースメントの見分け方

材質、サイズが同一でパツと見での判断は危険です。

ES	H30.10 ~	RAV4 に比べ両サイドの穴の数が多い (6個)
RAV4	H31.4 ~	ES に比べ穴の数が少ない (4個)



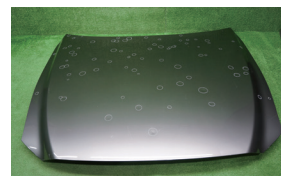
ES



RAV4

代替え予定のクルマ修理にヒョウ害パーツ需要

埼玉県内のヒョウ害から2か月以上が経過、修理が始まるとヒョウ害ボンネットの入荷機会も増えます。以前のようにボンネットの入荷量が豊富にあった時期には、ヒョウ害パーツは販売に結び付かなかったので集荷を断っていました。現在は半導体不足による新車生産が遅れから、代替え予定の車の事故補修に中古パーツの需要が高まっています。軽微なヒョウ害のパーツなら納品してくれ！といったお客様の声に押されて、やも得なくアイテムを絞って集荷を進めています。ご理解ください。



損害車の買取大手 タウの試み

損害車や事故車などの買取を行う大手業者タウは、損害車などの車両を修復して中古車として広く消費者に小売りする事業を強化するという。一昔前のこうした車両は「おこしクルマ」として業者の間で流通していた。この車の多くは輸出向けになったが、一部では国内の代車として使用されている間に中古車市場に再登場するようなややブラックな一面もあった。最近では「修復履歴あり」で中古車オークションに出品され売買されるようになっている。タウは、こうした「わけあり車」を自社工場で修復し、割安な価格と安心感の双方を顧客に訴求して、販売拡大につなげる試みです。こうした車の再販は、回り回ってユーザーが支払う保険料の軽減にもつながる可能性も秘めています。

ネーミングの変更



発送用段ボールに印刷されていた「RENOVATE BUMPER」は、バンパーの会社で親しまれてきましたが、グローバルな視点から7月より「RENOVATE PARTS」に表示を変更しました。引き続き愛顧の程よろしく申し上げます。

JPA 日本パーツ協会の解散報告

JPAは、昭和59年東京近郊にあった外装部品の再生業者6社と月間整備界の入村氏をオビニオンリーダーとして迎え発足しました。再生事業者としてオートアフターマーケットショウに出店、外装再生パーツの認知度向上に努めてきました。発足から38年間の歳月が流れ、その役割を終え、会員のほとんどが経営の第一線を離れたことを契機に解散することになりました。これまでのご支援ありがとうございました。

森林放置で巨木が倒木の恐れ

虫が運ぶ病原菌により発生する樹木の伝染病「ナラ枯れ」が都内の公園で拡大しています。これは病原菌「ナラ菌」を運ぶ体調5mm程度のカシノナガキクイムシがブナ科の木に入って発生します。菌の増殖によって、木の内部で水を吸い上げる能力が弱まり最後は枯れてしまうものです。原因は、森林の放置による樹木の巨大(老木)化や温暖化が要因です。この虫は、太い幹(老木)を好んで侵入して繁殖するためです。また温暖化が虫の越冬を容易にさせています。対策は高齢の木を伐採して、森林を若返らせることが必要との事です。この話は会社組織にも当てはまる気がします。ナラ枯れ対策を常に心がけください。

